

令和4年度

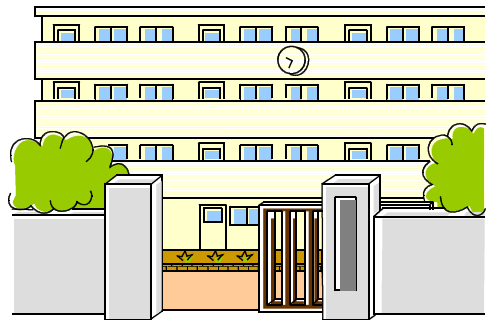
市小・中連携研修会

～桜丘中学校グループ（桜丘西小学校 桜丘東小学校 桜丘中学校）～

研究主題

中1キャップの解消を図る小中連携のあり方
～ 児童・生徒の不安感に寄り添った実践を通して～

日 程 令和4年 6月17日（金） 15:00～16:40



場 所 鹿児島市立桜丘中学校（図書館）

1 小中連携研究会の目的

小学校と中学校が連携を深め、9年間の学びの連続性を追求することを通して、小・中学校の円滑な接続及び、確かな学力の育成や生徒指導等の充実を図ることを目的とする。

2 令和4年度 桜丘中学校グループ（桜丘西小 桜丘東小 桜丘中）研究テーマ

中1ギャップの解消を図る小中連携の在り方 ～児童・生徒の不安感に寄り添った実践を通して～

3 研究の視点

学習指導 (本年度重点事項)	学習上の不安感に寄り添った指導の在り方 ・小中及び各学校で実践できる共通理解
生徒指導	学校生活上の不安感に寄り添った指導の在り方 ・小中で一貫して共通実践できることの共通理解
特別支援教育	特別な支援を必要とする児童・生徒の不安感に寄り添った指導の在り方 ・児童・生徒の支援体制の共通理解

4 研究計画 ※推進委員会は See-Smile によって行われる場合もある。

期 日	会 名	内 容 等
5月6日(金)	第1回小中連携研修推進委員会	研修会当日の運営計画立案 共通実践の設定等
6月17日(金)	市小・中連携研修会	授業参観及び共通実践事項の協議
8月2日(火)	第2回小中連携研修推進委員会	共通実践事項の経過確認・協議
1月19日(木)	中学校入学説明会	児童・保護者への入学説明会
1月31日(火)	第3回小中連携研修推進委員会	まとめ・次年度の日程・テーマ等の検討
3月23日(木)	小中連絡会	クラス編成・引き継ぎ等

～研究の流れ～

- (1) 第1回研究推進委員会にて運営計画立案，共通実践事項の設定
- (2) 各学校で令和3年度実践の方向性，内容の周知，現状と課題のとりまとめ
- (3) 小中連携研修会当日
- (4) 学期末に各校の実践の報告を行う。(各学校→桜丘中)
- (5) 共通実践事項の実践とふりかえり
- (6) まとめ

※ 今年度は、感染症予防のため、参加者の人数を減らし分科会、情報交換会のみ実施とする。(情報交換会は昨年度要望があり今年度引き続き行う。
分科会に関して当初は、3つの分科会の予定であったが、今年度は「学習指導」中心に。→生徒指導・特別支援教育も含め、紙面で情報交換する。

5 「市小中連携研修会」当日の出席者数

学校名	学習部会出席者数	情報交換会出席者数
桜丘中	8名	8名
桜丘西小	8名	8名
桜丘東小	4名	4名

(参考および検討事項)

- (1) 昨年度は小学校6名程度 中学校4名 生徒指導主任1名 特別支援学級担任 各2名参加
- (2) 昨年度は生徒指導分科会・特別支援分科会のみ実施
- (3) 全体会は実施するか? →実施しない

6 「市小・中連携研修会」当日の運営計画

- (1) 会場校 「桜丘中学校」※分科会・情報交換会
- (2) 参加校 「桜丘中学校, 桜丘西小学校, 桜丘東小学校
- (3) 当日の日程・会の内容
 - ① 14:50~15:00 受付・移動(桜丘中図書館)
 - ② 15:00~15:50 分科会(学習指導)
 - ③ 16:00~16:35 情報交換会
 - ④ 16:35~16:40 校長講話

(4) 当日の係

分科会	司会者		記録者		指導助言者	
	氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
学習指導部会	堀之内和子	桜丘中	原口美津代	桜丘西小	上久保大介	桜丘中

※司会者は課題解決に向けた情報交換が十分にできるように時間配分をする。

<会の流れ【例】>

- ①あいさつ
- ②各学校の現状と課題
- ③課題解決に向けた情報交換
- ④まとめ

7 今後のスケジュール

- 5/6(金) 第1回推進委員会にて提案・協議・決定
- 5/9~5/27(月)(金) 各学校の現状と課題のとりまとめ
→ See-Smile で 【各学校→桜丘中へ送付】
- 6月上旬・・・ 資料送付【桜丘中→各校へ】・・・印刷・製本お願いします。
- 6月17日(金) 小中連携研修会(分科会・情報交換会)
- 6月20日(月) 1学期の
~7月15日(金) 共通実践事項の実践・報告【各学校→桜丘中】

- 8月2日（火） 第2回推進委員会（確認）
- 9月1日（木） 集約分析【各学校→桜丘中】
 ～12月21日（水） 2学期の共通実践事項の実践・報告【各学校→桜丘中】
- 12月24日（金） 結果のとりまとめ【桜丘中】
 ～1月30日
- 1月31日（火） 第3回推進委員会（年間の振り返りと次年度のテーマ、内容協議（次年度担当校が校長と話し合い、決定する）
- 2月1日（水） 令和4年度実践報告の作成とまとめの送付【各学校→桜丘中】
 ～2月15日（水）
- 3月1日（水） 令和4年度実践報告内容の周知【全職員へ、各学校】
 ～3月24日（金） 次年度研修への引き継ぎ

8 当番校, 世話役（輪番）

	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
当番校	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中
学習指導	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中
生徒指導	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小
特別支援教育	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小	桜丘中	桜丘西小	桜丘東小

9 各学校の現状と課題

各校の課題 （ 桜丘西小 ） 学校

学習指導上の不安感に寄り添った指導の在り方
 <小中が連携した学習指導の在り方>

①外国語（英語）

- ・昨年度4年生でローマ字ノートを購入したが使い切れなかった（1年）
- ・身ぶり、手ぶりを加えて指導している（3年）
- ・デジタル教科書の活用（3年）・授業開始時のあいさつ練習シートの作成。帰りの会のじゃんけんを「ロック・シーザー・ペーパー」でしている（3年）
- ・AEAの先生には発音を中心に指導していただいている（4年）
- ・見取りのためにワークシートや自己評価カードをファイリングしておく（5年）
- ・発表の際、評価の観点も示し、動画に残し、本人にもロイロノートで送る（5年）
- ・担任とAEAでTTでの授業展開が多い（6年）
- ・5, 6年は市販のテストを購入して実施。書く時間の確保が難しいが、ローマ字ノートを購入した（6年）
- ・小学校での到達基準が分らない。中1入学時、どの程度の単語が書けるようになっていなくてはいけぬのか等（6年）

②情報教育

- ・令和3年度から3年生以上にタブレット配布。ロイロノートを授業で活用してきた。
- ・令和4年度は低学年も使用可能になる予定。
- ・低学年に本当に全員もらえるのか不安（1年）
- ・ロイロノート活用中（理科・社会・総合で）（3年）
- ・授業のまとめや自分の分ったことをロイロノートでまとめた（4年）
- ・体育・図工で動画や写真に使った（4年）
- ・理科で写真に撮って1年間の成長記録として活用（5年）

- ・理科で小テストを作成し、小テストを作成し、ロイロノートで提出させる（５年）
- ・調べたことを作品などロイロノートで提出させ、共有したり、評価に用いたりする（５年）
- ・デジタル教科書を有効活用する（５年）
- ・国語では自分の意見をノートに書き、写真に撮って先生にロイロノートで送ったり、算数の解答や個別のヒントをロイロノートで送ったりする（６年）
- ・体育でラジオ体操の動画で動きを確認したり、自分たちのラジオ体操の動画を撮って練習したりした（６年）
- ・昨年、ロイロノートでリコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏を家庭で撮影し先生に送った（６年）
- ・児童がアンケートをとる時にロイロノートを活用（６年）

③学習のきまり

- ・学年・学年部ごとの「家庭学習の手引き」をPTAで配布。児童にも掲示用として配布。
- ・授業中の「１０個のきまり」を教室に掲示→教室移動などで掲示されていない学級もあるので検討が必要。
- ・授業の「始まるの時間に始める」に気をつけている（１年）
- ・静と動ののけじめをつける。静かになってから始業の号令を言う。友達が発表する時は口を閉じて発表する人を見る（聞く態度）（２年）
- ・次の授業の準備をしてから遊ぶ（３年）
- ・授業始めと終わりに「黙想」を実践中（３年）
- ・学用品で机の上に置く物を決めている（鉛筆２本、定規等）（４年）
- ・機会を捉えて何度も確認する（５年）
- ・始業１分前には着席チャイムかなったらしゃべらない。（６年）
- ・授業の始めと終わりは「姿勢・礼」（６年）
- ・自分たちでできる活動を始める（６年）

小学校から中学校へ 中学校から小学校へ申し送り事項や質問事項

- ・中１へのアンケートで、中学校での困りごとなどを把握していただければ、小学校でも対策をとりたい。例えば給食時間が小学校では準備から片付けまで４５分間。中１は４月是对応仕切れないのでは。
- ・中学校でのきまりを教えていただき、６年の３学期には中学校の学習や生活のきまりに慣らす期間を設けたい。

各校の課題（ 桜丘東小 ）学校

- ①外国語についてどのように学習を進めていますか。また、児童の実態はどうですか。課題もあればお聞かせください。（例：スペルなどは教えていないが、単語を書き写すような活動をしている。評価が難しく業者テストは取り入れていない等）**
- ・教科書を活用して、授業を進めている。
 - ・少しずつアルファベットの大文字や小文字の書き取りの練習をしている。
 - ・担任の発音は自信がないが、AEAの先生の協力を得て、進めている。
 - ・授業を進めるのが精いっぱい評価が難しい。"
 - ・書く活動も取り入れているが、個人差が大きくなかなかはかどらない。ミニ先生になって教え合いをしている。
 - ・簡単なあいさつを中心にAEAの先生と連携して授業を進めています。
 - ・単語カードを使って語彙力を増やしています。
 - ・中学年ですので書く活動はしていません。"
 - ・チャンツや歌でリズムに乗って、楽しみながら外国語に慣れられるようにしている→児童もリズムに乗ると楽しいようで意欲的に取り組んでいる。デジタル教科書では、チャンツや歌のスピードが変えられるので、その単元で学習する表現に慣れてくるとチャンツや歌をスピードを上げてほしいと要求がある。
 - ・スペルは教えてはいない。単語をなぞったり、ピクチャーディクショナリを

見ながら書いたりしている。毎回ではないが、デジタル教科書のフォニックスを活用して、読む練習をしている。

- ・業者テストは取り入れていない。単元の終わりに教科書に付属しているテストとみんなの前で学習した表現を使った発表で評価をしている。
- ・教師自身をもっと英語でいろいろな表現ができるようになり、子どもたちが表現したいことを表現できるような手立てがとれるようにしたい。今はAEAに補ってもらいながら進めている。"
- ・単元ごとに振り返りカードを作成し、単元の目標や本時の目標、振り返りを書くようにしていた。授業中に評価が難しい児童はそのカードを活用して、評価するようになった。

書く活動については、学習カードを作成して評価した。「書き写すこと」ができればよいという認識で評価していた。(AEAの先生は覚えさせようとしていたが)"

子どもたちと教師(もしくは子どもたちで)で「単元のめあて(最後にする活動。例えば、クラスメートに向けて、自分のことを更に分かってもらえるように、英語で自己紹介をしようなど)」を話し合って決定し、目標達成に向けての学習計画を立てる第7次で、ゴールの活動を行い、最後の時間は、国際理解とチャレンジクイズ(教科書に付属しているペーパーテスト)を行うようにしていた。評価は、このチャレンジクイズとゴールの活動の内容、学期1回のパフォーマンステスト(評価基準を事前に子どもたちに伝え共有していた)、日々の学習の姿(振り返りも含め)で見取っていた。

また、ロイロノートで毎時間振り返りをさせて教師に提出されていた。振り返りながら、自分ができるようになったことやまだできないことを確認させ、次の学習に生かすようにしていた。

大きい課題が2つ。1つ目は、can do listの活用の仕方。

昨年度リストを作って使用したが、内容が難しくなって自己評価をするのが難しそうだった。教育委員会から送られたきたものは、更に難しく、他の学校

(中学校を含め)はどのようにしているのかを知りたい。

2つ目が「書く」指導。指導要領には「書き写す」ことができるようになるがあるとあるが、書き写すのも難しい子どもがいる。書くことを学習内容に入れると、時間がかかる。書くことに集中して、「読む」・「話す」がおそろかになっていた。

(発表メモを作るのに時間がかかり、音声に慣れ親しむことができないことがあったなど)また、中学校で困っている子どももいると聞くので、中学での学習の様子などを聞いて、小学校での指導の参考にしたい。

②情報教育について、どのように学習を進めていますか。また、児童の実態はどうですか。課題もあればお聞かせください。(例：ロイロノートを週に1回程度取り入れているが、取り入れ方が難しい。等)

- ・担任自身のタブレット操作が未熟で、なかなか指導が難しい。
 - ・子どもたちは楽しそうに取り組んでいる。ただただ担任の力量不足
 - ・低学年なので頻繁に活用するのは難しいが、自分でログインして写真を撮ったり感想を書いたりして、それを提出するところまで指導した。スムーズに活用していたかけ算九九練習では、よく利用した。
 - ・ロイロノートを総合的な学習の時間を中心に進んで取り入れている。高学年はプログラミング学習が入っていたので、スクラッチというアプリで子どもたちと活動をさせました。
 - ・1年生は、1人1台タブレットがまだないので、子どもたちはほとんど使っていません。担任はロイロノートを活用して授業を行っています。
 - ・ロイロノートで漢字テストをしている。紙を配らなくてよいので手軽にできる。ただし、見届けの工夫が必要だと感じる。
 - ・(児童)調べ学習では、キーワードを検索して調べることが多い。
 - ・(教師)調べた情報を活用できるような指導の仕方を身につけさせたい。
 - ・ロイロノートの思考ツールをもっと活用したい。"
- 各教科で自分の作品を作成したものを写真で撮らせて送ることをよく使っていた。

補教で入って写真を撮らせておけば、あとで担任も見ることができ、評価することができた。

- ・プリントで印刷する必要がない問題は、ロイロノートを使うと印刷の手間が省くことができた。なるべく使って、効果的な使い方を模索している。"
- ・昨年度からの積み重ねの結果で、ロイロノートやキーノートをととても良く活用できる。学級全員がよく使うことができる。なので、授業でも積極的にロイロノートを活用している。
- ・去年は低学年の担任だったが、使えば使うほど、子どもたちは自らできることを増やし、活用できるようになっていくと感じた。大変だと思うが、教師が積極的に活用する活動を設定していくことが大切だと思う。また、評価の時などにも役立つので、教師もメリットはたくさんあると思う。"
- ・特別支援学級での情報教育について取り組まれていることがあれば知りたいです。

③学習のきまりについて、児童の実態はどうですか。課題もあればお聞かせください。(例：特に聞く際の姿勢について指導をしている。友達の意見を聞く際もへそを向けるようにしている。等)

- ・しっかり声を出して意見を述べ合えるように声掛けしている。声が小さく何を言っているのか何を伝えたいのか分からない子どもが多い。
- ・基本的なことを中心に指導している。(授業のはじまり・姿勢・鉛筆の握り方・発表の仕方・意見の聞き方・整理整頓)学校で指導するだけでは難しいこともあるので、家庭の協力が必要だと思う。
- ・教師や仲間が話をしたり発表したりする時は、へそをむけるようにしている。
- ・机の上に余計なもの(筆箱や鉛筆削りなど)を出させない。
- ・意見を言うときは、手を挙げて言わせている。(燦燦囂々発言させないようにしている。)
- ・姿勢が崩れがちなので、声をかけるようにしている。
- ・1・2年生は、学習のきまりを掲示するように今年度は共通理解できた。3年生以上は、今年度中に作成して、来年度以降の活用を目指している。
- ・先生方の学習指導観(学習のしつけ観)がばらばらなのが課題。学校で決められているきまりは意識して指導している。そのほかの細かいきまりについては、個に応じ指導するようにしている。(聞く姿勢など)
- ・自分の課題は、どこまで守らせるかの判断が難しいこと。きまりを守ることができない(特性がある児童など)のか、甘えているのか、さぼっているのか・・・どこまで指導することがその子どものためになるのかいつも迷いながら、指導している。"話を聞く姿勢や時間のけじめがつくように指導を行っている。

各校の課題 (桜丘中学校)

①学習指導

(英語)

昨年度から、教科書が大きく変わりました。

【参考】教科書は・・・ニューホライズンを使用。

①語彙が1200→1800~2200。

【小学校の外国語科でふれた単語約700語】

※ちなみに使用教科書は633語

! 「この語彙をどのように指導していくか」→中一の担当教員でよく話題に。

②小学校で習っている「can」(中1の3学期)や「過去形」(中1の3学期)や[want to ~](中2)が中1の1学期に出てくる。また分量も多い。

- ！ 「どうやって系統的に教えていくか」→悩むところ
- ▲結果として学力の2極化、苦手な生徒へのフォロー不足が出てしまった。
- ▲小学校で「聞く・話す」ことができる生徒をどう「読む・書く」生徒につなげていくか・・・
- 小学校からの自宅学習のついでにしている生徒がいること。
 - 曜日や月、数字や序数を言える生徒が多数。
 - ALTの先生にどんどん英語で話そうとする生徒がいる。
(学期ごとにALTの先生とマンツーマンでパフォーマンステストを実施)
 - ローマ字は中学校ではヘボン式をとっている
 - 授業の初めに天気や曜日、月名などを聞く活動を共同で行っては？
・・・小学校との連携を。

【英語・外国語以外】

- (1年)支援が必要な生徒が多い(英語に限らず)そのために教科指導者だけでは手が回らない。
- (2年)場合によっては小・中の乗り入れ授業など計画してもよいのではないのでしょうか。(英語以外でも)
- (3年)学年が上がるつれ、音読などの声が小さくなる。授業中寝てしまう生徒もいる。(生活のリズムや意識)
提出物に関しては全部そろろうということがなかなかない(啓発する)

③ICT活用状況

- (1年)ネット環境がもっと円滑であれば使えるが、つながったりつながらなかったり、タイムラグがあったりすると授業が進められなくなるので使いづらい。
小学校はICTを活用している(進んでいる)と伺っている。
合同の研修会があってもよいのでは？

④学習のきまり

- 【1年】 おおむね良好。各クラス数名ずつ姿勢がたもてなかったり、眠ってしまう生徒がいる。暑くなってくると、辛そうな生徒が増える。

【定期テストについて】→小学校との違い

- 1学期に実力テスト、期末テスト。2学期に実力テスト、中間テスト、期末テスト。3学期に学年末テストというテストがあります。

①実力テストは1日5教科。中間テストは2日間で5教科。期末テストは3日間で9教科を実施。【部活動も停止】

②当日は名簿順に着席し、筆記用具以外は机の中もからにする。→去年は机に物が入っており、開始時刻が遅れるというケースもあった。

③2分前には静かに着席し、黙想をしてまっておく。

④質問があったり、物を落としたら静かに手を挙げる。

→単元テストをする教科もあるが、全体的には定期テストがテストとなる。

⑤教科によっては、訂正ノート【プリント】を提出。また、再テストなども行う。

【その他】

- ・教科書類は原則持ち帰る。
- ・桜丘中学校は「チャイムがならない」ので自分たちで時間をみて行動する。

中学校から小学校へ・・・入学して1ヶ月がたち気になるのが叩いたり手を出す生徒が多く感じる。
(小学校のときもそうだったのでしょか。)

情報交換会メモ

当日の日程

14:50～15:00

受付・移動（桜丘中図書館）

15:00～15:50

分科会（学習指導）

16:00～16:35

情報交換会

16:35～16:40

校長講話